

議事

(1) 今期のテーマの検討

イ 貸出点数及び予約点数緩和のその後の検証

前回までの振り返り

1 経過について

平成30年6月に現在の点数に変更、約4年が経過。

・貸出点数

各館で7点→全館15点（うち視聴覚資料は7点）

なお、移動図書館は15点とは別に10点（うち視聴覚資料は7点）

・予約・リクエスト点数

全館で7点→全館（移動図書館含む）で15点（うち視聴覚資料は7点）

2 現状について

・貸出点数は減少傾向、予約件数は年々増加。

・今後予約図書を受取場所の増設を検討中。

・主な課題

新刊、人気図書は予約が途切れなため、図書館の書架に並ぶまでに長い時間がかかる

予約資料の取置期限や回送等のタイムラグが長く、回転率が上がらない（利用者の手が届きにくい）

予約確保棚スペースの限界

・近隣市の状況

3 協議会での主な意見等

・貸出点数はそのまま、予約点数を少し絞るという考え方もできるかもしれない。

・予約サービスに関しては、コロナ禍において滞在時間を短くする面からも大変有難いが、人気図書は1年ないし2年待たなければ順番が回ってこない状況もある。人気図書を何冊も用意するのは難しいかもしれないので、運営上可能なのかという問題もあるが、例えば発売から1年間は貸出を1週間にする等の区別があっても良いと思う。

・取り置き期間が少し長いように思われるので、貸出期間を短縮するより、取り置き期間9日間で1週間にする等、もう少し短くする方が効果的ではないか。

検証・検討状況

1 貸出点数について

全館の貸出点数近年の推移（グラフ①参照）

・平成30年度（2018）の貸出点数の変更により微増

・令和元年度（2019）、令和2年度（2020）はコロナの影響により、大きく減少

・令和3年度（2021）は利用が増加

2 予約点数について

(1) リクエスト件数の推移 (グラフ②参照)

- ・近年は年々増加傾向

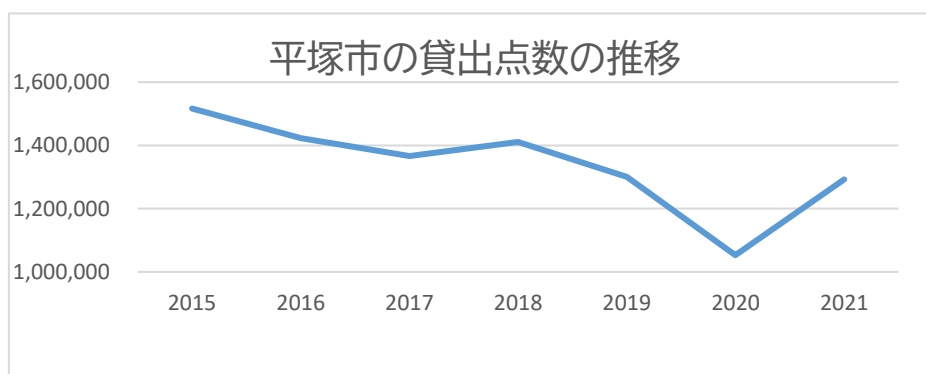
(2) 平塚駅前予約図書受取所開設、地域の読書環境の整備による影響

- ・駅前予約図書受取所の状況
- ・地域の読書環境整備における図書の貸出

3 取置期限について

- ・現在の取置期限
- ・近隣自治体の状況

(参考資料 グラフ①)



(参考資料 グラフ②)

年度	窓口	館内検索機 (OPAC)	ウェブ	合計	貸出点数	予約割合	備考
2015	33,127	38,828	169,562	241,517	1,516,627	15.9%	
2016	30,487	35,288	159,618	225,393	1,423,133	15.8%	
2017	29,428	31,858	153,086	214,372	1,366,617	15.7%	
2018	32,767	30,370	181,168	244,305	1,410,572	17.3%	2018 (H30) 6月 ～ 貸出・予約点数を それぞれ7冊→15冊
2019	30,929	25,620	186,846	243,395	1,300,563	18.7%	
2020	27,075	15,247	204,068	246,390	1,052,821	23.4%	
2021	30,350	18,403	224,480	273,233	1,292,163	21.1%	